

「三鷹市土地利用総合計画2027（案）」に係る市民意見への対応について

【凡例】

- ①計画に盛り込みます・・・・・・・・意見概ね提案どおり又は趣旨として盛り込むもの
- ②事業実施の中で検討します・・・・・・・・計画へ盛り込まないものの、事業実施段階で判断するもの
- ③既に計画に盛り込まれています・・・・・・・・既に意見が計画に盛り込まれているもの。既に意見の趣旨が計画に反映されているもの
- ④対応は困難です・・・・・・・・趣旨の反映を含め計画に盛り込むことが困難なもの
- ⑤その他・・・・・・・・その他の意見など

パブリックコメント提出状況

人数： 4名
件数： 8件

※パブリックコメントによる市民意見については、一部抜粋又は意識して掲載しています。

No	該当ページ	該当部分	市民意見 ※	対応の方向性
1	9	第2章基本的な方向 1 まちづくりの視点と方向性	<p>第2章基本的な方向 1まちづくりの視点と方向性(3) 緑と水のまちづくりについて。国立天文台に関する文章の削除を求めます。</p> <p>三鷹市が計画している[国立天文台周辺のまちづくり]構想は、国立天文台北側敷地の旧官舎跡地を開発して、学校統廃合による義務教育学校を新たに三鷹市に1校は創るといふ、現市長と前教育長の悲願の為だけに進められてきた愚策です。</p>	<p>④対応は困難です</p> <p>本計画は、令和6年10月に策定した「国立天文台周辺地域土地利用基本構想」に基づく、現時点での方向性を踏まえて策定を進めています。 国立天文台周辺地域の取組は、羽沢小学校及び大沢台小学校などの移転を通して、防災性の向上、地域の共有地の創出、魅力ある教育の展開、天文台の緑の保全、買物不便環境の解消など、まちづくり上の相乗効果を発揮できることから進めているものとなります。 天文台の森(北側)に義務教育学校を整備することにより、自然豊かな学習環境のもと、おおさわ学園として小・中一貫教育のさらなる強化を目指しています。</p>
2	16～20	第3章目標とする都市像の実現にむけて 2 都市整備の骨格(軸)	<p>「都市整備の骨格(軸)」の図において、都市整備の骨格としての「中央都市軸」「東西都市軸」「サブ都市軸」のいずれも、井の頭地区を素通りしているように見えます。市内の均衡ある発展と開発を望みます。</p>	<p>②事業実施の中で検討します</p> <p>(1)中央及び東西の2本の都市軸、(2)都市軸を補助するサブ都市軸、(3)河川の沿道など歩行者を中心とした緑と水の軸線を都市整備の骨格として、「緑と水の公園都市」をめざして面的に推進しており、市内の均衡あるまちづくりに取り組んでいます。 なお、「都市整備の骨格(軸)」のサブ都市軸は、交通、防災、環境等の視点から都市軸を補助する幹線道路のうち近い将来事業成果が見える道路を指定しています。</p>

No	該当ページ	該当部分	市民意見※	対応の方向性
3	67~68	第5章テーマ別のまちづくり方針 2 道づくりとともに進めるまちづくり	できるだけ私道を市道にさせていただきたいです。雨が降っても歩きやすい道路に舗装してほしいです。	②事業実施の中で検討します 私道は個人の財産であることから、所有者の意向や、維持管理の条件等を踏まえた上で市道にするなどしています。市では、交通の円滑と生活環境の整備を図るため、整備対象となる私道のうち一定の条件を満たすもの（未舗装道路など）に限り、市において舗装等の整備を行っています。
4	132	第6章住区ごとのまちづくり方針 2 東部住区	牟礼の里農園（仮称）について。 多くの梅の木に伐採の目印がつけられています。市民のために伐採を急がなければならない理由がないのであれば、市民が望むかたちの農園になるように、話し合いをしながら進めていただきたいと思います。	②事業実施の中で検討します 牟礼の里農園（仮称）は、市民が安全に農作業を行える空間として維持・管理していくことが重要と考えています。 伐採等については、老木が多いため、倒木や枝折れの危険がある木を中心に複数回に分けて行う予定です。今までも事業や現地の説明会を行ってきたところですが、今後も、引き続き説明会を開催し、意見交換をしながら進めていきます。
5	146	第6章住区ごとのまちづくり方針 4 井の頭住区	井の頭住区に関する記述について。 東京都が発表する「地震に関する地域危険度測定調査 地域危険度一覧表（区市町別）」でも、井の頭地区の総合危険度は、三鷹市内で最高となっています。リスク軽減のために消防車がすぐに到着できたり、人々がすぐに避難できるようなアクセスのよい道路の建設が必要と考えます。したがって、ここでは、三鷹都市計画道路3・4・12号（本村井の頭公園駅前線）を井の頭公園駅まで早期に建設することの重要性について触れる必要があるのではないかと思います。三鷹都市計画道路3・4・12号（本村井の頭公園駅前線）について全く触れていないのが残念です。	②事業実施の中で検討します 井の頭地区における災害発生時の延焼の防止、避難路などの機能を有する都市計画道路3・4・12号（三鷹3・4・7～武蔵野市境）の必要性等については、市も認識しています。「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」を踏まえ、東京都及び隣接する市とともに、引き続き検討していきます。 また、井の頭地区は緊急車両と一般車両のすれ違いが困難になるなど、道路の幅員が十分でない地区であることから、緊急車両等の通行経路を確保するため、引き続き道路の拡幅や道路ネットワークの形成に取り組みます。
6	146	第6章住区ごとのまちづくり方針 4 井の頭住区	同様に市道第56号線についても「拡幅整備を行っていきます」と書かれていますが、何年以内を目途にするのか、その目標について記載があつてしかるべきではないでしょうか。	②事業実施の中で検討します 市道第56号線の拡幅整備事業については、沿道建築物の建替えに合わせることで、財政負担の観点から物件補償をすることなく事業を推進することとしています。事業推進の趣旨から年次計画を示せるものではないため、引き続き事業実施の中で周知等を図っていきます。

No	該当ページ	該当部分	市民意見※	対応の方向性
7		その他	国立天文台周辺エリアの新たな地域づくりの取り組みの記載に関して、削除するかまたは現状に応じた記載に訂正することを求めます。	④対応は困難です 本計画は、令和6年10月に策定した「国立天文台周辺地域土地利用基本構想」に基づく、現時点での方向性を踏まえて策定を進めています。
8		その他	ここ数年国立天文台の土地の利活用の問題、学校統廃合問題及び義務教育学校問題に関して、住民の懸念や子どもたちの不安・心配を表明した声には、まるで背を向けたかのような言動と行動で、一方的なスケジュールの中で計画ばかりがどんどん進行してきています。 今一度、国立天文台の敷地の開発計画を含む全ての個別計画、教育ビジョン、基本計画等の練り直しを求めます。	④対応は困難です 本計画は、令和6年10月に策定した「国立天文台周辺地域土地利用基本構想」に基づく、現時点での方向性を踏まえて策定を進めています。 国立天文台周辺地域の取組は、羽沢小学校及び大沢台小学校などの移転を通して、防災性の向上、地域の共有地の創出、魅力ある教育の展開、天文台の緑の保全、買物不便環境の解消など、まちづくり上の相乗効果を発揮できることから進めているものとなります。 なお、同構想につきましては、市民の皆様やおおさわ学園の子どもたちの意見をお聴きしながら策定しています。 今後も引き続き、様々な立場の方からご意見・ご理解をいただきながら取組を進めていきます。